

Globalization begins within

グローバル化はあなたの心の内から



青山学院大学 国際政治経済学部

2026

SIPEC

School of International Politics, Economics and Communication



青山学院大学
国際政治経済学部

国際政治経済学部は
2022年に40周年を迎えました



https://www.aoyama.ac.jp/post02/2022/news_20220629_01



— カーボンオフセット印刷 —
この印刷物は、環境省等が運用する
「J-クレジット制度」を活用しており、
国内のCO₂削減事業を支援しています。

2025年6月発行

国際系学部のパイオニアとして

新しい価値を創造し、発信するグローバルリーダーを育成

なぜ、国際政治経済学部なのでしょうか？

それは、国内外の多様性がますます進み、

多様性や不確実性に対応できる力が

求められているからです。

本学部では国際政治学、国際経済学、

国際コミュニケーション学を

それぞれ深く学び、

さらに3分野を有機的に統合して学びます。

日々の学びの中で、

学生の多様性への対応力やリーダーシップスキル、

批判的思考力・問題解決力、

外国語運用能力、発信力を育んでいます。



Globalization begins within

IT技術の発達や人工知能の発展は私たちの日常生活を益々便利なものにし、ネットワーク上で世界の誰とでも意見交換することを可能にしました。しかし、世界のあらゆるところで紛争は繰り返され、想定外の災害も頻発し、より不確実な世の中になってきています。

グローバリゼーションは心の内から始まります。今こそ、国、言語、民族、習慣、ジェンダーによる違いを越えた共生・協働が私たちに求められています。学生一人一人が他者を尊重し、多様性から新しい価値を創造し、真のグローバルリーダーとして社会にはばたいていけるよう私たち国際政治経済学部は共に歩んで参ります。

国際政治経済学部長
内山 義英
Uchiyama, Yoshihide



教育の特色 1 | 深い専門性

専門知を磨き、統合知を獲得する

グローバルな課題を解決するために必要な国際政治、国際経済、国際コミュニケーションの専門的な知識や洞察力。さらに、これらを統合的に理解し、国際社会を見通す力。本学部では、3学科5コース制で学問的な専門性を磨きつつ、専門の垣根を越えて多角的に物事を捉える力を養います。

3学科5コース

▶ PP.03-04

「知」を集め活用する力を培う

少人数ゼミをはじめ、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート、グループワークといった学びのスタイルを多くの授業で取り入れています。それは自ら問いを発し、その問いを仲間と共有しながら学問的に解決していくプロセスを重視しているからです。

1から4年次へと続く少人数ゼミ

▶ PP.05-06

教育の特色 2 | 高い国際性

英語で考え、協働する力を身につける

「国際」に特化した学問領域や国際理解科目に加え、国際問題や時事問題をベースとした外国語プログラム、100を超える英語講義科目や豊富な留学・海外研修などを通して、ユニバーサルなコミュニケーション能力を高めます。

英語で学ぶ専門科目

▶ PP.07-08

世界を舞台に活躍する人材を育てる

▶ PP.09-10

海外で学ぶ 豊富なプログラム

▶ PP.11-14

国際政治経済学部は、以下の資質をもった学生をお待ちしております。

- 国際社会の動向およびあり方についての知識と関心を有している。
- 自らの力で主体的に思考し、判断し、表現できる。
- 学びを通じて他者と積極的に協力・協働し行動する意欲を有している。

国際政治経済学部 3学科のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）については以下をご確認ください。

www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/

※2025年4月時点での情報です。
内容は変更となる場合がございます。



専門知を磨き、 統合知を獲得する

3 学科 5 コース

世界の課題を解決する知を得る

政治・経済・コミュニケーションを学ぶ

- 国際政治経済学部生として求められる、国際問題を考える基礎と幅広い視野を身につける

専門性を深めるコース選択

- 希望に合ったコースを選択し、各分野の専門性を深める ……2年次

自由に学べる、ゼミを選ぶ

- 基礎と専門性を課題解決力に変えるゼミ。所属する学科にとらわれず自由に選ぶ ……3年次
- 学ぶ意欲に応じて、学科・コースの枠を超えた科目を履修する

国際政治学科

国際社会の多様な状況を理解し、問題解決力を身につけ、
自らの考えを発信する



政治外交・安全保障コース

- 国家や地域の視点から国際関係を考察
- 安全保障問題の分析と政策提言を行う

グローバル・ガバナンスコース

- グローバル社会のルールや制度のあり方を検討
- 地球規模の課題を分析し、問題解決を考える

学科科目例

国際関係論入門	グローバル・ガバナンス概論	国際安全保障論	国際平和協力論
政治理論入門	国際政治経済学概論	比較政治論	EU論
アジア政治入門	国際関係史概論	日本政治論	国際環境論
環太平洋政治入門	国際法概論	中国政治論	国連研究
アメリカ政治入門	政策過程概論	アジア太平洋政治論	人の移動と国際関係
ヨーロッパ政治入門	政治過程概論	アメリカ政治論	など
中東政治入門	政治学方法概論	国際法	
アフリカ政治入門	国際機構概論	外交史	
国際交流実務論	国際NGO概論	国際関係理論	
政治分析概論	日本の外交	計量政治分析	
政治外交・安全保障概論	日本の防衛	国際政治経済論	

演習論文テーマ例

- ナゴルノ・カラバフ紛争における力関係の逆転
- 近代日本女性と女性解放運動
- NATOの東方拡大とロシアの脅威認識
- 言語と宗教が国家間紛争に与える影響
- 姉妹都市交流に平和への希望を託す

Vision of the Future

公的機関、国際的な企業・団体に就職するなど、
広く国際社会に関わりたい

国際経済学科

世界経済・経営が直面する新たな
確かな分析力を身につける

潮流をつかみ、



国際経済政策コース

- 国、産業レベルでの国際的経済問題を分析
- 経済理論に基づいた政策提言を行う

国際ビジネスコース

- 国際ビジネスや経済活動に対する視点を身につける
- 企業行動や企業マネジメントなどを実践的に分析する

学科科目例

経済学入門(ミクロ)	グローバル経営論	ビジネス・エコノミクス	地域研究(アジア経済)
経済学入門(マクロ)	金融	多国籍企業論	地域研究(EU経済)
国際経済学入門	ミクロ経済学	国際労働経済学	地域研究(アメリカ経済)
国際経済政策入門	マクロ経済学	管理会計論	など
国際ビジネス入門	国際公共経済学	コーポレートファイナンス	
グローバル経済史	国際貿易	政治経済実証分析	
開発経済学入門	ゲーム理論	国際環境経済政策論	
社会科学のための統計学入門	国際産業論	環境リスクガバナンス	
社会科学のための数学入門	国際経済A・B	国際会計	
情報と組織の経済学	国際金融とデータサイエンス	日本経済	
ビジネス・マネジメント	計量経済学	中国経済	

演習論文テーマ例

- 営業利益と職場環境指標の相関性に関する実証分析
- 砂糖税の導入に対する消費者行動分析
- 中小企業のESG促進に果たす金融機関の役割
- インド・ヒマチャルプラデッシュ州における教育 制度と課題
- インフルエンサーマーケティングの経済学

Vision of the Future

国際金融や発展
企業に就職して
途上国の経済開発に携わったり、
国際ビジネスの舞台で活躍したい

国際コミュニケーション学科

異文化を理解し、人と人、人と社会、社会と社会をつなぐ
コミュニケーションを理解する



国際コミュニケーションコース

- 「言語」、「地域文化・比較文化」、「コミュニケーション」の3つの視点からグローバル社会の課題を考察する

学科科目例

国際コミュニケーション総論	Structure of Japanese	Intercultural Literacy
コミュニケーション論	言語と人間	宗教文化論
国際ビジネス・コミュニケーション	英語発音の理論と演習	文化研究概論
Intercultural Communication	言語の普遍性	スペイン文化論
インターカルチュラル・トレーニング	認知言語学入門	ロシア東欧文化論
コミュニケーション研究法の全体像	ディスコース分析	中国文化論
コンピュータによる調査データの解析	多言語社会とコミュニケーション	イペロアメリカ文化論
アンケート・社会調査の方法	実践・通訳コミュニケーション	ヨーロッパ文化論
言語科学概論	現代社会とジャーナリズム概論	国際協働学習
言語の仕組み	現代社会とジャーナリズム実習	異文化コミュニケーション特講
社会言語学入門	Culture and Society	など

演習論文テーマ例

- 面子からみる中国人の思考・行動原理
- Leadership in Multicultural Organizations in Japan and the United States
- ポジティブ思考とことばの関係
- プロテスト・ソングとしての「Don't Let Me Be Misunderstood」
- 日本とチリにおける防災協力の実践と展望

Vision of the Future

マスコミ、商社、サービス業、金融業はもちろん、
海外協力事業団、国際交流事業、通訳・翻訳業界に挑戦したい



「知」を集め 活用する力を培う

1 年次

2 年次

3 年次・4 年次

演習論文

入門セミナー

専門分野への導入と 学習の方法やスキルの獲得

本学部で学ぶ専門分野について、様々な角度から触れることによって、その概要を把握します。
また、資料文献の読み方、レポートの書き方、プレゼンテーションやディスカッションの方法など、大学生として必要なスキルを演習形式の能動的な学習によって身につけます。

入門セミナー

あらゆる題材の中から、課題を発見し、整理して考え抜く力をつけるセミナーです。
隔週で講義を聴き、グループディスカッションで問題点を明らかに。翌週のセミナーでプレゼンテーションを行います。自分たちでゼロから作り上げる授業といえます。

国際政治の基礎力を身につける

入門セミナーは、国際政治を学ぶ上での基礎力を身につける「土台」となる授業です。レポート執筆では、自分の主張だけではなく、講義で学んだ理論に基づいて考察することを学び、講義内容への理解が一層深まりました。このプロセスを通じて、学んだことを自らの活動に応用していく力が身についたと感じています。また、プレゼンテーションやディスカッションでは多様な価値観に触れ、異なる視点や新たな気づきを得られる貴重な授業でもありました。



Profile
国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース 2年
竹内 美月 さん
TAKEUCHI, Mizuki

高2で米国のピアノフェスティバルに参加し、音楽の力で国際協力に貢献したいという想いを強く持つ。国際協力に携わるためには、社会に関する幅広い知識が不可欠だと感じ、青山学院大学への進学を決意した。

プリゼミ

専門知識の修得 論理的思考力・表現力の獲得

専門的な学びへの導入期間。少人数制のクラスで、1年次に関心をもった分野の教員と連携しながら、専門知識を築きます。研究・プレゼンテーション・ディスカッションなどを通して論理的思考力・表現力を培い、専門的な研究へつなげていきます。

プリゼミ

「Multicultural Japan」をテーマにしたセミナー形式の少人数制クラスです(英語講義)。学生は移民政策、異文化間コミュニケーション、人種差別、異文化適応プロセスなどの関心のあるテーマを選び、ミニプロジェクトを実施します。文献調査、データ収集と分析、口頭発表、最終レポートの作成に至るまで、すべての研究プロセスを学びます。学生はグループディスカッションや個別調査を通じて、日本における移民に関連する問題についての理解を深めていきます。

論文執筆を迷わず遂行するための“準備期間”

国際政治経済学部では、3年次から2年間かけて論文を書き上げます。大学生活の集大成ともいえる論文を円滑に進めていく“準備期間”がプリゼミです。データ収集や取材のやり方、テーマ決めなど、難易度の高い作業をステップごとに学んでいきます。教授は学生の自主性を尊重しつつ、個別に丁寧なフィードバックをいただけるので心強いです。また、学生同士のディスカッションは、論文の構成を組み立てる上でとても参考になりました。



Profile
国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 3年
英保 克郎 さん
ABO, Katsuro

得意分野の英語を活かすため青山学院大学を志望。社会に出るにあたっては、培った英語能力をどう有用スキルとして活用するかが大事だと思い、より実践的な知識を習得できる国際政治経済学部を選択した。

演習

課題解決力の育成 専門知識と思考力・表現力を結びつける

学科にこだわることなく個々の学習目標に合わせ自由にゼミ選択が可能です。一学年あたり平均7名の少人数クラスにより、研究発表や討論中心の授業が展開されます。
専門分野を深める過程で、幅広い視野の獲得、論理的思考力、表現力を身につけ、課題解決能力を養うと同時に、将来の方向性を見いだしていきます。また、卒業に向けて、研究テーマを深化させ、演習論文にまとめます。

演習

Make green fun

国際経済学科
准教授 瀬尾 佳美



我々が直面する環境に関する喫緊の課題とその対処法について、科学的にかつ楽しく論じることを目指しています。

地球温暖化、海洋プラスチックごみ、生物の多様性喪失、化学物質の健康影響など、環境に係わる問題は山積しています。食品ロス問題など身近なものもありますが、温暖化(気候変動)問題にその典型を見るように、環境問題の多くは長期的な視点を必要とするものです。本ゼミではこういった問題を考える基本的な視点(理論)を身に着けるとともに、毎年特定のテーマを決めて議論を進めています。24年度は廃棄物問題、23年度はESG投資と金融の社会的役割について考えました。テーマ選定は学生自身の自主性を重視しています。



瀬尾ゼミのメンバー。ディスカッションしたり、お互いを高め合う存在。



瀬尾ゼミ風景

ゼミテーマ例

※詳しくはP.21の教員紹介をご覧ください

国際政治部門	国際経済部門
■ 国際社会における法の支配 ■ 外交・国際安全保障問題の社会科学的分析 ■ グローバリゼーションの政治経済学	■ 社会・組織・私の問題の経済分析 ■ 企業活動や規制・産業政策・競争政策に関するデータ分析 ■ グローバルな視点から学ぶ経済史
国際コミュニケーション部門	国際マネジメント部門
■ 多文化社会の諸相 ■ 異文化コミュニケーション ■ 自然言語の音声・音韻研究	■ 企業経営と価値創造そしてアート

自由度が高く、学生主体で行う探求活動

高校時代から関心を寄せてきた食品ロス。何人もの教授に自分が学びたい分野をアピールし、共感いただいた瀬尾先生のゼミに参加しました。先生主体で進められるゼミが多い中で、瀬尾ゼミは自由度が高く、先生の研究範囲内であればテーマも学生に委ねられます。私がゼミ長になってからは「廃棄物」をテーマに決め、たとえば生き物の死骸や大型の空きビルなど、一見、廃棄物に見えないようなものも取り扱いました。自由な分、有効な学びを得ようと主体的に情報を集める姿勢が養われたと思います。ふと議論で出た単語を拾って繰り広げられる先生の講義も大変興味深いです。卒業論文のテーマは「食品ロスに躍起になる価値はあるのか」。ゼミを通して培った柔軟な思考力を用い、探求の成果として公平な視点で食品ロスを見つめ直すことができました。



Profile
国際経済学科 国際経済政策コース 4年
吉岡 航 さん
YOSHIOKA, Kou

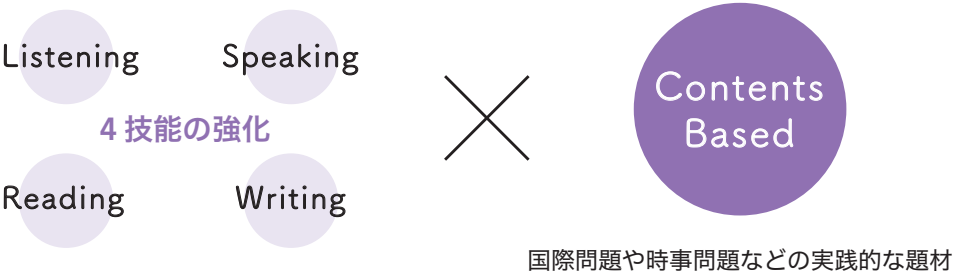
中学高校とハンドボールに打ち込む傍ら、食品ロスにも関心を寄せる。大学では国際政治経済学部の公認学生団体「SANDS(サンズ)」に所属。SDGsの普及活動として、昆虫食をはじめとしたサーキュラーフードを学祭やイベントで販売する取り組みなどに従事。

英語で考え 協働する力を身につける

本学部では、英語で論理的に考える力、英語を使って協働する力を身につけ、グローバルな課題を解決するための人材育成を目指しています。
全クラス約20人で、授業の多くが英語で行われています。
また、入学時のTOEIC®学内試験の結果をふまえた能力別のきめ細やかな授業を行っています。

学びの特徴

国際問題や時事問題などの実践的な題材を通じて、Listening、Speaking、Reading、Writing の4技能の向上を図ります。
また、論文作成やビジネスの場で通用する、アカデミックな英語力の育成を目指しています。



英語授業カリキュラム

学年が進むと、英語で論文を書くクラスや、通訳者・翻訳家による指導を受けるクラスを通して、アカデミックな能力と高度な実践的スキルを伸ばすことができます。
また、数ある専門科目を英語で学ぶ機会も多く設けられています。

1年次 【必修】	- Writing I・II - Reading I・II - Media Literacy	- Public Speaking - Internet English - Debate & Discussion
2年次 【必修】	- Writing III・IV - Reading III・IV	- Academic English - English Seminar
3年次 【選択科目(科目例)】	- Academic Writing - Academic Listening - Academic Presentation Skills - 通訳の理論と実践 I・II - 実践・通訳コミュニケーション I・II - 英語の音声(2年次より履修可)	- Business Communication I・II - Media Communication - Cyber Communication - Negotiation Communication - Conference Communication

専門科目(英語講義)

英語で学ぶ専門科目

英語で学ぶ

100を超える英語講義・専門科目を英語で学ぶ

point 1

英語での理解力・発信力UP

英語で日常的に思考し、海外からの留学生と机を並べて英語で討論し、また英語でレポートを作成するなど、専門分野において英語でアカデミックワークをする力を強化します。英語は非母語話者を含め話者がもっとも多い言語です。英語でアカデミックワークをする力は、近い将来社会に出てからも大いに役立つはずです。

point 2

留学準備に最適

専門科目を英語で学ぶことで、留学先で英語環境にスムーズに溶け込むための準備ができます。留学帰国生あるいは海外就学経験者は、海外で鍛えた英語の能力をさらに伸ばしていくことができるでしょう。また、海外留学・海外大学院進学相談室で留学に関する専門家のカウンセリングを受けられるなど、本学部ならではの特典もあります。

point 3

グローバル環境に対応した教員陣

教員のうち9割以上が博士号取得者であり、4分の3の教員が海外で学位を取得しています。その数は私立大学学部の中でも群を抜いています。
さらにアメリカ、中国、韓国、ロシア、オーストラリア、ベトナムなどの国籍をもつ教員もあり、各地域への留学の相談に乗っています。このように、本学部はこれからも、グローバル系学部の草分けとして進化を続けていきます。

英語で実施される 専門科目例

Business Communication I・II
Conference Communication
Culture and Society
Cyber Communication
EU論 I
Global Studies I～VIII
Intercultural Communication
Media Communication
Negotiation Communication
Structure of Japanese
アジア政治入門
アメリカ政治入門
グローバル・ガバナンス概論 II
グローバル経営論 I・II
グローバル経済史
プリゼミ

マクロ経済学 I・II
ミクロ経済学 I・II
異文化コミュニケーション特講 I
演習 I A・II A/演習 I B・II B
海外短期研修
開発経済学 II
外交史 II
国際コミュニケーション総論 I・II
国際ビジネス・コミュニケーション I・II
国際安全保障論 I
国際関係史概論
国際関係論入門
国際経済 A
国際経済学入門
国際経済政策入門
国際政治学特講 I

国際平和協力論 I・II
国際法概論
国際労働経済学 I・II
国連研究
実践・通訳コミュニケーション II
社会言語学特講
政治外交・安全保障概論 II
政治分析概論
政治理論入門
多国籍企業論 I
地域研究(EU経済)
地域研究(アメリカ経済)
日本経済
日本政治論 I・II
日本文化論

Global Studies Program

グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)

卒業要件132単位の1/3～半数を英語で学ぶプログラムです。
修得単位数に応じてSilver Course、Gold Course※として修了証が授与されます。英語により行われる専門科目のほか、協定校留学、短期海外研修で修得した単位等が対象となります。

※Silver Courseは40単位以上、Gold Courseは66単位以上が修了要件です。

卒業要件 単位 132単位		
● 青山スタンダード科目 ● 外国語科目 ● 学科科目 ● 自由選択科目		
英語で学ぶ授業 40単位	日本語で学ぶ授業 92単位	GSP Silver Course
英語で学ぶ授業 66単位	日本語で学ぶ授業 66単位	GSP Gold Course
		132単位

VOICE グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP) 選択者インタビュー

英語も専門領域も同時に

Global Studies Program(GSP)は、学部の専門科目を英語で学ぶことのできるプログラムです。登録することで、一部の英語講義を優先的に履修することが出来るようになります。英語力の向上と専門科目の勉強を同時に進めることが出来るだけでなく、留学の準備として、英語で講義を受ける環境に慣れるための場としても役立ちます。このプログラムを通して私は、英語で情報収集する力と海外から来た留学生との交流機会を得ることが出来ました。英語講義のレポートやプレゼン準備などを通して英語論文に触れていたことで、英語で情報収集することに慣れることが出来ました。その結果、日本語講義でレポートを書く際にも、英語論文から情報を探すという選択肢が自分の中に生まれました。英語で書かれた情報を読めるようになると、得られる情報が格段に広がります。加えて、英語講義は、留学生も多数受講しています。授業を通して知り合った留学生とは、授業外でも遊びに行くほど仲良くなりました。GSPは英語能力を上げたい、英語を日常的に使う環境が欲しい、留学生と交流したい、あるいは自分の留学に備えたいといった気持ちがある方に特におすすめです。



国際経済学科
国際ビジネスコース 3年
中村 舜 さん
NAKAMURA, Shun

世界を舞台に活躍する人材を育てる

卒業まで続く英語の学び

English for Juniors and Seniors について

本学部では、「3年生、4年生が履修できる英語のスキルを上達させる科目を開講して欲しい」という学生の声に応えて、「English for Juniors and Seniors」という英語プログラムを開講しています。近い将来社会に出て行く3年生、4年生が履修する授業であることに鑑み、学生の研究に資する能力、社会に出ても有用なものとして残る能力の獲得・向上に焦点を当てる科目を提供しています。

VOICE

授業担当教員の声

Academic Presentation Skills
勝又 恵理子 教授 KATSUMATA, Eriko

デンマーク・オーフス大学(Aarhus University)とのCOIL型教育を活用した協働学習から学ぶプレゼンテーション能力と異文化理解の向上



多様な文化が共存する社会になり、様々な文化背景を持つ人の前で英語プレゼンテーションをする機会が増えています。本コースでは、国際的な社会で役立つ実践的な英語によるプレゼンテーション能力を向上させること、そして質疑応答を通して英語でのディスカッション能力を養うことを目標としています。

その一例として、デンマークのオーフス大学とCollaborative Online International Learning (COIL)型教育の一環として非同期・同期型交流を通じて、自国の文化や社会問題についてのディスカッションを行います。本学部生はデンマーク文化について英語で発表、オーフス大学生は日本の社会問題を日本語で発表することで、グローバル教育を実践し、実体験としての学びに繋げることができます。



講義内容を
チェック

第二外国語を通して拓くグローバルな視野

第二外国語 について

広く国際的な視野を育てるために、英語以外の外国語として、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語からひとつを選択して学習します。

言語運用能力を養うだけでなく、異文化理解を深めるために、各言語の文化について学ぶ授業もあります。

どの言語も1年次には未修の学生がほとんどですが、中には、2年次または3年次から、その言語を使用する国へ交換留学できるほど上達する学生もいます。

VOICE

授業担当教員の声

スペイン語文献精読 I
鳥塚あゆち 准教授 TORITSUKA, Ayuchi

媒体によって異なる多様な文章を読み、
言語の背景にある文化に接近する

本学部の第二外国語カリキュラムでは、2年間で文法とコミュニケーションを学ぶ6単位の履修が必修となっています。「文献精読」は、2年間の学びを基に、書かれた言葉を読み解き、その言語をより深く知る授業となります。文法の正しさだけを考えた機械的な翻訳はあまり重要ではなく、書かれている内容に理解を示し、書き手の意図を汲み取りながら文章を読むことが求められます。必修の授業では扱われない長い文章や、ネイティブが日常的に使用する表現などに向き合うことで、その言語がもつおもしろさや難しさがわかるようになります。

この授業では、既習文法を復習しながら、ニュース記事、エッセイ、解説文など、多様な媒体に表現されるスペイン語の文章を読みます。文と文の繋がり、時制の使い方、単語の選び方などを学ぶことでスペイン語の文章構造を理解し、またどのような日本語の表現に訳すことが適切なのかを考えます。同時に、読み物の内容を通してスペイン語圏の文化や社会、歴史への理解を深めることも目標としています。



講義内容を
チェック



海外で学ぶ豊富なプログラム

青山学院大学の 留学制度

青山学院大学には、休学することなく長期留学が可能な「協定校留学」(交換留学)と「認定校留学」(自分が希望する大学を留学先として申請する制度)があります。毎年本学部から45名程度(※)の学生が協定校・認定校への派遣交換留学を経験しています。また、夏期・春期を利用した海外語学・文化研修や海外インターンシップなど豊富なプログラムに加え、奨学金制度も用意しています。

※2024年度実績

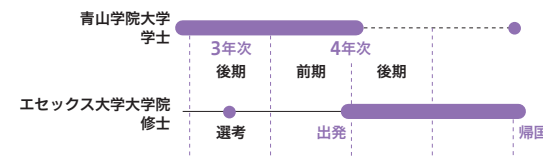
■各国の協定校数

アジア			オセアニア			北米・南米			ヨーロッパ		
インド	1	モンゴル	1	オーストラリア	6	カナダ	4	フィンランド	2	スペイン	4
ミャンマー	1	ベトナム	2	ニュージーランド	1	アメリカ	40	スウェーデン	1	イタリア	2
タイ	6	中国	9			メキシコ	1	ノルウェー	1	スイス	1
マレーシア	3	香港	1			エクアドル	1	デンマーク	1	ポーランド	4
インドネシア	2	ブルネイ	1					アイルランド	2	チェコ	1
フィリピン	1	台湾	5					イギリス	4	ハンガリー	1
韓国	12	カザフスタン	1					ベルギー	1	セルビア	1
								オランダ	2	ブルガリア	1
								ドイツ	8	ロシア	2
								フランス	9	ウクライナ	1
								トルコ	1	スロベニア	1

エセックス大学 ダブルディグリープログラム

ダブルディグリープログラムとは？

4年次後期から1年間、エセックス大学大学院(イギリス)へ留学することで、青山学院大学の学士とエセックス大学の修士の学位を4年半の修学期間で取得できる、本学部独自の留学プログラムです。2023年度から奨学金制度を整備しました。



参加学生は下記の所属コース例のように、国際政治経済学部での学びを活かした多様なコースで修士号を取得することが可能です。2021年度にこのプログラムを終了した最初の卒業生は、エセックス大学のGovernment Departmentに所属し、MSc Social Data Scienceの学位(Distinction付き)を取得しました。さらに修士コースでの最優秀賞も受賞しています。このように国際的な視野を広げるのに理想的な環境の中で、多様な選択肢の中から、自身の専門分野を深めることができます。

■所属コース例

- MA Politics
- MA Economics
- MA English Language and Linguistics
- MA Conflict Resolution
- MSc International Business and Entrepreneurship
- MA Political Theory
- MSc Social Data Science
- MA Linguistic Studies
- MA International Development
- 他、多数のコースを用意。
- MA Political Economy
- MPP Public Policy
- MA International Relations
- MA Advertising, Marketing and the Media

■こんな方におススメ

- 海外大学院での修士号取得や研究職を目指す方
- 国際機関や外資系会社等への就職を希望している方

■派遣実績

・2022年度 2名 ・2023年度 2名 ・2024年度 3名 ・2025年度(予定) 2名

■留学先情報／エセックス大学(イギリス)

point 1

質の高い教育

社会科学分野において世界で高い評価を受けている。

point 2

国際色豊かな環境

学生の約40%が留学生で、130 カ国以上の国々からの留学生を受け入れている。



VOICE

ダブルディグリープログラム体験者インタビュー

グローバルに活躍するという夢を現実に

エセックス大学院での留学生活は、自身の適応力や思考力が飛躍的に鍛えられていると考えています。今回で三度目の留学となりますが、最も厳しく、深い思考力と情熱を持って取り組む必要がある挑戦でした。その理由は二つあります。

まず一つ目は授業の進行方法です。私が所属する社会学部ではサドネス形式と独立学習(independent study)が導入されています。サドネス形式とは、すべての授業をクリアしなければその時点で留年が確定する厳しい形式を指します。一方、独立学習とは、授業で触れる内容が表面的なものであり、学生自身が主体的に深く学ぶことが求められるスタイルです。このため、単位を落とさないためには、授業で聞いたことだけに頼らず、自己主導で学ぶ必要があります。最初は戸惑いでしたが、現在では自分自身の学びをデザインできることの利点を感じ、柔軟な思考力と適応力が鍛えられました。

次にキャリアについてです。学業と並行して、将来どのように社会と関わり、どのように貢献できるのかを常に深く考えています。このため、資格取得のための勉強や、論文テーマについて、今後どのように活かしていくかを考えながら日々の生活を過ごしています。エセックス大学院での留学で培った適応力や思考力は、私の成長に大いに役立っています。留学期間中に参加できた、ボストンやロンドンのキャリアフォーラムでグローバルな企業に対し、その力を大いに発揮できたと考えているからです。また、私がグローバルな舞台で活躍できるイメージを掴むことができたことと確信しております。

こうしたスキルを今後も活かし、国内外の様々な人々と協力しながら、持続可能な社会の発展に貢献したいと強く願っています。

国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース 4年
伊藤 優希さん ITO, Yuki



VOICE

留学体験者インタビュー

ヨーロッパの真ん中で出会う、新たな自分

【留学先】Paderborn University(ドイツ)

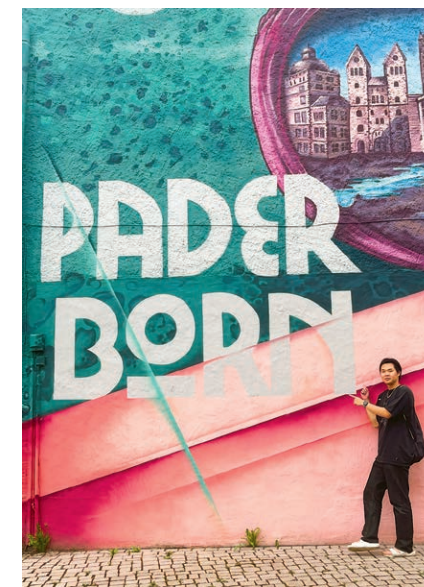
EUの政治・経済の中核を担い、多民族が共生するドイツという国を肌で感じ、国際的な視野を広げたい——そんな思いから、私はドイツ留学を決断しました。

留学先のパーダーボルンでは、豊かな自然に囲まれながら、世界中から集まった学生たちと共に学んでいます。日本とは異なる生活に戸惑うこともありますが、友人と支え合いながら毎日を充実して過ごしています。街は穏やかで落ち着いており、学びに集中できる理想的な環境です。

授業では、国ごとに異なる視点からの意見が活発に交わされ、「国際性」とは何かを日々実感しています。一方で、寮では友人たちとパーティを開いたり、ドイツ国内外と一緒に旅行したりと、授業外の時間も貴重な思い出で溢れています。大学が主催するイベントやツアーを通じて出会った友人たちは、今ではかけがえのない存在です。

このように、語学力だけでなく、人との出会いや新たな価値観にも恵まれたドイツ留学は、私にとってかけがえのない経験となりました。この経験を糧に、これからも多様な価値観を受け入れ、国際社会に貢献できる人材を目指したいと思います。

国際経済学科
国際経済政策コース 4年
遠藤 周英さん ENDO, Shuei



国際政治経済学部はオンライン・オフラインを 自由自在に切り替え、どのようなときも 学部独自の海外研修プログラムを実施しています。

ハンドン大学(韓国)・国際政治経済学部協働短期研修

このプログラムは本学部の教員と韓国のハンドン大学の教員が協働で構築したものです。プログラムでは東アジアの経済、政治、文化、コミュニケーションを学び、現地学生との交流を深めます。ハンドン大学は、国際色豊かな、青山学院大学と同じくキリスト教に基づく教育を実践している大学です。人格教育の分野でも高く評価されており、IT、金融をはじめとする様々な業界でグローバルに活躍する卒業生を多数輩出しています。2025年度は韓国へ渡航、2026年度はハンドン大学の学生が来日します。

VOICE

日韓交流を通じた学びと成長

Handong Global Universityは、韓国・浦項市にあるキリスト教系の大学です。今回の研修では、日韓の教授陣による講義に加え、意見交換やグループワークを通じて、両国の政治や経済について学びました。最終日にはプレゼンテーションを実施し、私たちのグループは「日韓の戦後の経済成長と今後の課題や可能性」について発表しました。

発表に向けた準備では、両国の経済成長の特徴や共通点・相違点について活発な議論が交わされました。特に印象的だったのは、韓国人学生の「日本の戦後経済はかつてアジアの成功モデルだったが、長期停滞により競争力を失いつつある」という指摘です。日本も韓国も少子高齢化

国際経済学科 国際経済政策コース 2年
本谷 栞奈さん HONTANI, Kanna

や低成長といった共通の課題を抱える中、互いの現状を俯瞰し、率直に意見を交わす機会は非常に貴重でした。それによって、自国の経済への理解も一層深まったと感じています。さらに、発表後の質疑応答では、他のグループからの意見や質問を通じて新たな視点を得ることができ、物事を多角的に考えるきっかけとなりました。

講義以外の交流も充実しており、日常生活の中で文化の違いを実感する場面が多くありました。特に食事のマナーには異なる点が多く、その違いに驚かされました。研修を通じて多様な価値観に触れることができたことは、今後の学びにおいて大きな糧になると感じています。



EU研修 (International Summer School in Ludwigshafen)

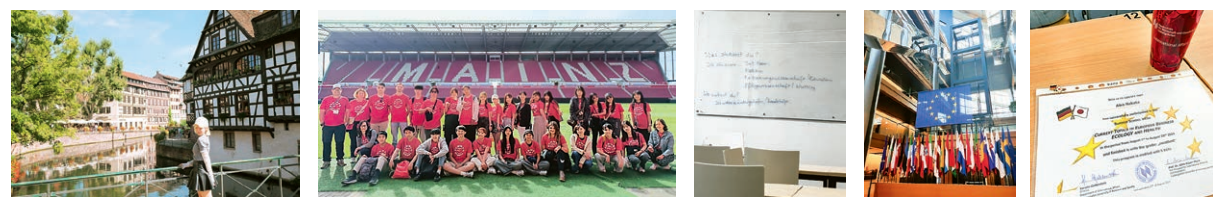
通常の語学研修とは違い、EUが国際政治経済の一極として重要な役割を担っている状況を他国あるいは日本の他大学の学生と共に学びます。ドイツ南西部にある大学でのワイン産業、スポーツビジネスに関するセミナーでの座学、ワイン産業と農業の取り組みをワイナリーへの訪問を通じて学び、フランスストラスブールのEU議会への訪問を通じてEUの政治の仕組みと地理的近さを感じ取ります。

VOICE

フィールドワークを通じた体験で学ぶ日々

ドイツLudwigshafen大学での3週間に及ぶ夏期研修ではEU概論、ワインなどの地場産業、スポーツビジネスなど、EUの政治経済を大学での講義だけでなく実際に現地を訪れ実体験を通して学びました。また授業内で他大学の学生と共にグループに分かれEU概論、健康と環境、サッカーを通じたスポーツビジネス、ドイツ国内のワイン産業についてグループごとにそれぞれのテーマでプレゼンテーションを行いました。フィールドワークが多く組み込まれていたことにより、実際に訪れたからこそこの気づ

きもありより講義の理解を深めることができたと感じています。フィールドワーク後には自由時間も設けられており、大学所在地以外の都市も見学することで、各都市の特徴や違いを実感することができました。研修の中にはドイツ語のクラスも組み込まれており、数字や挨拶などの実用的なドイツ語を学び、最終的には対話形式のテストも行われました。このプログラムでは言語、講義、実地研修の多様な面からEUの政治経済、文化について知識と経験を得ることのできる実りのあるものでした。



ランプン大学(インドネシア)・国際政治経済学部協働短期研修 オンライン開催

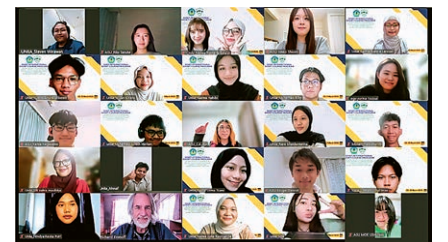
インドネシアのランプン大学と本学部の教員が協働で構築したプログラムです。インドネシアと日本の政治、経済、文化、コミュニケーションについて学ぶプログラムで、2020年度よりオンラインで実施しています。バーチャルで工場見学をしたり、ディスカッションを通じて学生同士からも多くを学びます。

VOICE

かけがえのない異文化研修体験を共に創る

近年の地政学的変化や世界貿易の変化によって従来のパターンが崩れ、新興国の成長が注目を集めています。私が今回の文化交流研修に参加したのも、インドネシアの経済やイスラム文化に触れ、異文化コミュニケーション力を高めるためでした。今回の文化交流プログラムでは、ランプン大学の学生や教授と直接交流する機会を得て、経済、政治状況、食文化、ジェンダー問題など、多彩なトピックを学ぶことができました。

プログラム全体を通じて、日本の経済成長やインドネシアの経済システムの倫理面、異文化コミュニケーション、さらにインドネシアの政治発展など、多岐にわたる講義が私たちの視野を大きく広げてくれました。特に、小グループでの意見交換では、異なる背景を持つ参加者と活発に意見を交わし、新しい価値観に触れる貴重な機会になりました。さらに、授業後に開設されたチャットルームの存在が交流を一層深めてくれました。私は幸運にも、そのチャットルームの進行役を担当する機会を得ました。そこでは、政経に関する議論から日常の食文化に至るまで、活気あるやりとりが行われました。こうした実践的な学びが、成長へとつながったと感じています。異なる文化や価値観を尊重し、共に学ぶ喜びを味わえた今回の経験は、私にとってかけがえのない財産となりました。



国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース 3年
AU CHUN KIT さん

海外ボランティア実習

NPO法人 ICYEジャパン主催の海外ボランティアプログラム。活動地域はヨーロッパ、北中米、オセアニアの約30カ国にわたり、「環境保護」、「児童福祉」、「教師アシスタント」などのプログラムに参加します。国際コミュニケーション関連科目の学びと実践ボランティアを結びつけることで、知識や語学力の向上だけでなく、国際理解や異文化コミュニケーションのスキルを向上させることができます。

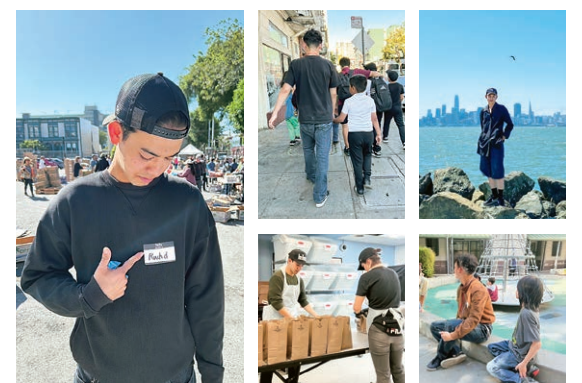
VOICE

プログラムで学んだ自分の心との向き合い方

私はもともと「アメリカに行きたい」という夢があり、映画やドラマなどの映像を通してではなく、自分の五感すべてを使ってリアルなアメリカを学びたいと考えていました。そこで、夏休みにICYE主催のサンフランシスコボランティアプログラムに参加させていただきました。

プログラムでは、現地の教会や広場に赴き低所得者の方々に食事を提供したほか、学童で子どもたちと遊んだり、現地で働く日本人の方にインタビューをしたりと、毎日が充実していました。日本では協調性を重視する文化がありますが、アメリカではどんな人と会話をしても、自分の意思をはっきりと伝えてくれることが印象的でした。また、バスではお年寄りや身体の不自由な方が乗ってくると、サッと席を譲り、「こちらに座ってください」と自然に声をかける姿を見て、アメリカでは集団よりも自分自身を主軸にして生活していると感じました。それは自分の気持ちに正直な純粋で美しい生き方のように思え、私も自分の気持ちに正直に生きたいと思うきっかけとなりました。

3週間という期間でしたが、将来自分がなりたい像と海外への更なる好奇心を形成してくれたとても意義のある経験となりました。



国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース 4年
カーン 琉士人 ウツラ さん Khan Rushd ULLAH

ベトナム研修

国立ベトナム農業大学と提携し、現地の学生とペアを組んで調査から成果報告まで行う約1週間のプログラムです。大学での講義や現地のJETRO・JICAスタッフによる講義、日系および現地企業の視察、農村フィールドワークなどを通じて、開発経済や日本の開発援助などについて学びを深めます。

VOICE

現地社会に飛び込み、体験と学びに溢れた2週間

短期ベトナム研修に参加し、ベトナム国立農業大学での講義受講、JICA・JETROや日本企業の視察、また現地農村と関連企業・農協の視察を行いました。滞在中は大学内の寮に滞在し、ベトナム人学生と交流をしながら、現地の人々に近い暮らしを体験することができました。私は開発経済学を学ぶゼミに所属しており、東南アジア農村地域に関心があったため、現地の人々と直接交流する機会を持ち、勉強や就職活動に活かしたいと考え参加を希望しました。研修を通じて、ベトナム社会や経済発展について学びを深めることができただけでなく、改めて自分自身の考えや立場を認識し、将来への解像度を高めることができました。特に農村でのインタビューや、現地で活動する日本関連機関の働きを学ぶことで、ただ国際的な仕事に関われれば良いのではなく、日本人としての立場が活かせたり、現場に拠点をもち現場と関わったりと、手触り感のある仕事を選択していきたいと考えました。開発経済学を学ぶ一学生として、現地に行って体験するからこそ分かることが沢山あることを身を持って感じ、学べたことは非常に貴重な経験でした。

国際経済学科 国際経済政策コース 2025年卒
森田 都 さん MORITA Miyako



学生インタビュー

国際政治学科

授業を通して国際政治の複雑さを実感
多様な学びから将来の目標も発見

ロールプレイ形式で自分事化

印象に残っているのは「マスメディア国際政治」の授業で行った政策シミュレーションです。台湾有事をテーマに学生が各国の要人役を担当し、ロールプレイ形式で交渉や議論を行いました。実際に議論を進めると知識だけでは対応できない場面が多く、様々な立場や利害関係で成り立つ国際政治の複雑さを実感。改めて物事を多角的に捉える大切さを学ぶことができました。

ゼミで苦手意識を克服

ゼミでは和田洋典先生から多くの学びと刺激を受けました。扱うテーマは新興国から宗教まで幅広いのですが、先生は個々の学生の力を見極め、必要な能力を伸ばす指導をしてくださいます。授業中は必ず1度は発言する機会を設けるなど、アウトプット力の育成にも熱心。人前で意見を述べることに苦手意識のあった私も、経験を重ね、自分の考えを抵抗なく伝えられるようになりました。

多様な学びから得た将来目標

国際政治経済学科で学ぶ中、「簿記論」を受講したことで会計や数字を扱う分野に興味を持ちました。今は関連する資格取得の試験勉強に取り組んでいます。所属学科とは直接関係ない領域にも思えますが、学部での多様な学びがあったからこそ、自分の適性を見つけることができました。学部で培った知識を活かし、柔軟な対応ができる社会人として成長していきたいです。



北原 光さん
KITAHAARA, Hikaru
国際政治学科
グローバル・ガバナンスコース 4年

2025年4月撮影

時間割【前期】(3年次)

	月	火	水	木	金	土
1	比較憲法論 (人権保障)					
2	国際開発協力論	比較政治論	国際NGO概論			
3		マスメディアと 国際政治		簿記論ⅠA		
4	演習ⅠA	国際政治経済論Ⅰ				
5	演習ⅠA					
オンライン				英語の音声	フランス文化論 ビジネス・マネジメントⅠ	

国際経済 学科

多様な価値観を持つ 友人たちと交流
「人とのつながり」を大切にした4年間

シラバスの充実は想像以上

将来の目標が明確でない中でも、自分の視点で物事を捉え、考える力を養いたいと青山学院大学に入学しました。国際政治経済学部は他学部・学科の科目も履修することができ、特に第二外国語は他学部より長く学べる環境が整っています。入学後にシラバスを確認し、想像以上に幅広い学びが用意されていて驚きました。語学力と国際感覚が同時に磨ける素敵な学部です。

視野が広がったペアワーク授業

3年次に履修した「国際ビジネスコミュニケーション」は留学生の参加が多く、ペアワーク中心の授業でした。最初は「英語だと気持ちが伝えられないかも」と萎縮してしまっただけなのに、徐々に慣れていき、今では長期休暇を使って留学生の母国に遊びに行くことも。語学だけでなく文化や価値観の違いに触れながら学ぶことができ、自分自身の視野が大きく広がりました。

多様な価値観から多くを学ぶ

大学生活4年間でもっとも大切にできたのは「人とのつながり」です。国際政治と経済を両軸で学ぼうという学生は多様な価値観を持っている人が多く、相手の考えを尊重する姿勢や信頼関係を築く大切さなどを多く学びました。この学びを糧に、将来は人に寄り添い、課題解決に貢献できる職業で活躍したいですね。人の新しい一歩を後押しできるような存在を目指したいです。



辻野 萌音さん
TSUJINO, Mone
国際経済学科
国際ビジネスコース 4年

2025年4月撮影

時間割【前期】(3年次)

	月	火	水	木	金	土
1						
2		国際労働経済学Ⅰ 【英語講義】	考古学A			
3		演習ⅠA	映像文化論Ⅰ	簿記論ⅠA		
4		演習ⅠA		国際ビジネス入門		
5		パブリック・リレーションズ				
オンライン	流通論Ⅰ					

国際コミュニケーション学科

大学生活で異文化コミュニケーションを探究
新たな価値創出に喜びも

3本柱で充実のカリキュラム

大学選びで重要視した点は、国際的な大学で、異文化コミュニケーションが研究できること。高校でイギリス留学した際、様々な国籍の人と出会い異なる価値観や文化に触れる中で、異文化コミュニケーションに関心を持つようになりました。国際コミュニケーション学科は文化・言語・コミュニケーションが学びの3本柱です。充実したカリキュラムは、まさに私の理想の環境でした。

学びの多い実践型講義

1年次の「国際協同学習」は、グループ活動を主体とした実践型の講義でした。海外の学生に日本文化を紹介する課題では、コミュニケーション能力だけでなくビデオ制作スキルも養われ、とても楽しかったです。また、子どもを対象に英語で平和教育をする機会も。対話を促すファシリテーターのスキルを学ぶと同時に世界平和教育にも興味を持ち、その後平和教育団体に参加しました。

国際的組織に就職し研究活動も

1年次に出会った猿橋順子先生は、特に印象に残っています。先生の授業から社会言語学の知見を深め、また研究やレポート執筆から新しいモノを創出する喜びも経験しました。大学の学びを活かして、将来は国際的な航空会社やNPO団体に勤務するのが目標です。さらに機会があれば、社会言語学や異文化コミュニケーションの研究を極め、その分野に貢献したいと考えています。



SU HANGさん
国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース 3年

2025年4月撮影

時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1		キリスト教概論Ⅱ				
2	多言語社会とコミュニケーション	Intercultural Communication 【英語講義】				
3	演習ⅠA	中国語文献精読Ⅰ				
4	演習ⅠA	Academic Listening				
5	認知言語学入門					
6	スポーツマネジメントキャリア演習Ⅰ					
オンライン						青山学院大学の歴史 人づきあいの科学A
春期休暇	海外短期研修(インドネシア研修)【英語講義】 2025年3月3日～3月10日					

学生一人ひとりの想いを実現する

キャリアデザイン

本学部には毎年、グローバルな課題を解決したいという強い想いを抱く学生が入学してきます。

その想いを形にする論理的な思考力、異文化コミュニケーションスキル、グローバル課題解決に向けて実行する力を養うカリキュラムやプログラムを用意しています。同じ意識や目標を共有する学生が自主的に活動を行い、切磋琢磨する場として4つの学部公認学生団体を設置し、その活動を支援しています。

実践的なキャリア教育

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
演習科目	入門セミナー・プリゼミ ▶ P.05	演習科目	ゼミ ▶ P.06
留学			▶ P.11
海外研修など			▶ P.13

特殊講義

グローバルな諸問題とその解決策を検討するために開設されている講義
現役官僚や国際交流基金職員などが担当

現場の第一線で活躍する講師による本学部の特別講義の一部

国際交流実務論

独立行政法人 国際交流基金
(The Japan Foundation)

国際交流に携わるエキスパートによる現場の視点に立った講義です。特に国際交流基金の3つの事業(文化芸術交流、海外での日本語教育、日本研究・知的財産)について認識を深めることができます。

日本の外交

外務省

日本の外交実務の第一線で活躍している外務省職員によるオムニバス形式の講義です。二国間・地域・地球規模のさまざまな分野にわたり、日本の外交の生きた姿を理解することを目標としています。

日本の防衛

防衛省

日本の防衛実務に精通した防衛省高官によるリレー式の講義です。日本を取り巻く安全保障環境、国際情勢の認識、自衛隊の運用など日本の防衛政策に関する幅広い知識を習得することが目標です。

国連研究

United Nations

現役の国連職員が英語で講義します。国際の平和および安全の維持を含む国際社会の諸問題は国連の立場・国連の視点からどのように解決されるのでしょうか。実践的な能力を養う絶好の機会です。

特講

(クロスボーダーM&A戦略論)

EYストラテジーアド・コンサルティング株式会社

戦略・M&Aコンサルティングに従事している、現役コンサルタントによる講義です。日本・グローバル企業のクロスボーダーM&A事例を教材に、M&Aや戦略コンサルティングの概念に加え、基礎的な会計・ファイナンス・法務知識の習得を目指します。

学部公認学生団体

外交・国際公務指導室

外交・国際公務指導室は、1982年に国際社会で活躍できる人材の育成を目指して設立されました。当団体では、外交官や国際公務員を志す「スペシャリスト」だけでなく、幅広い知識を持つ「ジェネラリスト」の育成にも力を入れています。週1回の活動では、1年生は国際政治・国際経済の基礎を学び、2年生以降は興味分野に応じた研究を行います。また、外交官や研究者による講演会を通じて、進路について具体的に考える機会を提供しています。さらに、当団体は多様な価値観を尊重しながら自由に議論できる環境を大切にしています。自ら主体的に学び、成長したいと考えるみなさんの参加をお待ちしています。

代表:国際政治学科

政治外交・安全保障コース 3年

豊島 誠 さん TOYOSHIMA, Makoto

ジャーナリズム指導室

ジャーナリズム指導室は、新聞社、通信社、及びテレビ局などで活躍するジャーナリストの輩出を目的とした学生団体です。普段の活動では、大手新聞社で長年記者を務めた講師のもと、作文添削やディスカッションを行っています。自分の考えを文字に起こし、発言することで、どう伝えればわかりやすいのかを悩みながら、文章力や伝える力を高めていきます。また、新聞社やテレビ局への見学や、実際にマスコミ業界で働くOBOG訪問を年に数回行っており、マスコミ業界を志望する学生には理想的な環境です。マスコミ業界を志望する方はもちろん、自分の文章力や伝達力をより良いものにしたい方、ぜひお待ちしております。

代表:国際経済学科

国際経済政策コース 3年

本岡 亜美 さん MOTOOKA, Ami

SANDS (SIPEC & SDGs)

「渋谷から世界へ」SDGs(持続可能な開発目標)のトレンドを作り出す。私たちはこのビジョンと共に活動しています。SANDSは国連WFPと協働して開催した「飢餓ゼロ(Zero Hunger)1016キャンペーン」を端に、その後活動の幅を広げてきました。現在では、青山学院初等部および渋谷区立小学校放課後クラブでのSDGs授業や渋谷区への環境政策の提案・実施、環境負荷の少ない食品の普及活動、マイボトル普及を目的としたウォーターサーバーの設置とオリジナルボトルの販売、国際女性デー普及のためのイベント企画など、外部の企業・団体との産学官民の連携を重視した多彩なプロジェクトを展開しています。ぜひ一緒に世界を変えるアクションを起こしましょう。

代表:国際経済学科

国際ビジネスコース 3年

天野 翼 さん AMANO, Tsubasa

iEARN

iEARN@SIPECは、主に高校生までの子供や若者に向けて国際協働学習の機会を提供する学生主体の団体です。iEARNという国際的なNGOネットワークに参加し、平和やプラスチックゴミ問題をテーマに世界中の仲間と共に学ぶ、主にオンラインでのワークショップを企画しています。さらに、学会での活動報告、他国との相互文化交流、JICAやさまざまな専門家からのお話など貴重な機会を通して多様な視点を得ることができます。活動においては先生や先輩が手厚くサポートしますのでご安心ください。皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

代表:国際経済学科

国際ビジネスコース 3年

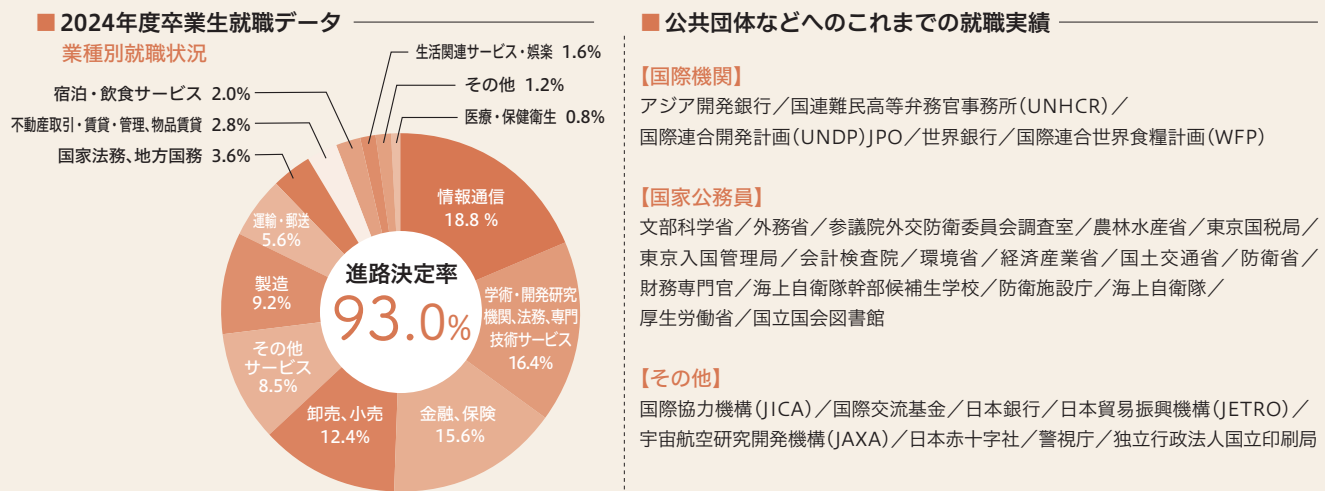
山崎 和 さん YAMAZAKI, Nagomi

就職／大学院進学

就職／大学院進学

高い進路決定率を誇る国際政治経済学部

進路・就職センターと学部の教員が協力し、企業サイドの視点を理解するためのセミナーや、実践的な模擬面接などを数多く開催し、学生一人ひとりが自分の適性と将来の目標を十分考慮した上で就職活動に臨むことができるサポート体制を整えています。こうした取り組みが、優良企業や国際機関への就職と、学生本人が満足できる結果となってあらわれています。



■ 就職者上位企業・団体

アクセンチュア株式会社	10	D X C テクノロジー・ジャパン株式会社	4	株式会社ベイカレント・コンサルティング	3
株式会社みずほ銀行	8	ポート株式会社	4	株式会社ベクトル	3
株式会社三菱UFJ銀行	8	株式会社ビジョン・コンサルティング	4	株式会社りそなホールディングス	3
日本アイ・ピー・エム株式会社	7	株式会社みずほフィナンシャルグループ	4	三菱HCキャピタル株式会社	3
日本航空株式会社	7	住友生命保険相互会社	4	三菱UFJ信託銀行株式会社	3
PwC Japan 有限責任監査法人	6	日本電気株式会社	4	三菱電機株式会社	3
全日本空輸株式会社	6	S M B C 日興証券株式会社	3	双日株式会社	3
楽天グループ株式会社	5	伊藤忠商事株式会社	3	弁護士法人アンダーソン・毛利・友常法律事務所	3
国家公務員・東京都	5	株式会社JALスカイ	3	野村證券株式会社	3
富士通株式会社	5	株式会社ジェーシービー	3		(A)

大学院への進学

国際政治経済学研究科では、みなさんの関心とキャリアプランに即して、国際政治学、国際経済学、国際コミュニケーションの3専攻の中から一つを選び、専攻の学びを深めると共に他専攻科目や他研究科科目も履修することができます。国際政治経済学部4年次に大学院科目を先取り履修できる制度や、下記のような支援制度があります。これらを有効に活用してグローバルなキャリアを確かなものとしてください。

■ 大学院科目特別履修

学業成績優秀な第4年次生は一定の条件の下、16単位を限度として大学院授業科目の特別履修が可能です。大学院進学後、この制度で修得した単位を修了要件単位に含むことができます。

■ 就学支援

【修士課程・博士後期課程共通】
・入学金、校友会費全額免除
(本学学部卒業、修士課程修了の場合)
・各種奨学金
・教育ローン
・国際学会発表支援制度

【博士後期課程】
・施設設備料全額免除
(本学修士課程修了の場合)
・若手研究者育成奨学金
奨学金額:授業料年額的全額
※条件有

■ 修了生の主な就職先企業・団体

・日本航空(株)
・国家公務員
・日本アイ・ピー・エム(株)
・Citigate Dewe Rogerson Japan(同)
・(株)フロンティアコンサルティング
・ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク
・(株)椿本チエイン
・明治機械(株)
・(株)INFAS/アプリケーションズ
・日産産業(株)
・日本ビジネスシステムズ(株)
・INTLOOP(株)
・私立大学(教員)
・(株)JT B
・富士ソフト(株)
・(株)島津製作所
・ボッシュ(株)

グローバル社会で躍動する卒業生

大学で培われた主体性と能動的な学び

国際政治の真髄に触れたプリゼミ

大学で初めて国際政治の真髄に触れたと感じたのは、2年次のプリゼミで学んだ「保護する責任」の授業です。「保護する責任」とは、ジェノサイドや人道に対する罪の被害を受けている人々を、国家や国際社会が救済することを求める国際的な規範です。この概念を聞いたときは「人道上の危機に対しては国際社会が積極的に介入・関与すべきだ」と思いました。しかしその一方で説明を受けたのは、特定の国においてはこの概念を悪用し、他国への不当な侵略行為を正当化する論理にもなり得るということです。講義後のディスカッションでは保護する責任の是非について活発な議論が交わされ、最後まで意見が割れたと記憶しています。国際政治におけるジレンマを実感するとともに、関心もより一層深まり、今後さらに学びを深めていきたいと思うきっかけになった貴重な大学での経験でした。

一方、私の恩師ともいえる存在が菊池努先生です。3～4年次のゼミでは、先生のもとでアジア太平洋地域における国際政治を学びました。先生からよく言われたのは「あなたのオリジナリティは何か」。自分にしかできない視点で物事を捉え、はじめて成果が価値づけされるのだということを表現した一言だと思えます。就職した今でも心に刻み、このマインドのおかげで常に仕事には能動的に、問題意識を持って取り組むようになりました。

やりがいを感じる宇宙規模の仕事

卒業論文では「宇宙と国際政治」をテーマに執筆しました。長年関心を抱いてきたこの分野で働きたいという思いから、2015年に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)へ入構。現在は衛星利用運用センター(SAOC)にて、地球観測衛星によって得られたデータを活用し、社会課題の解決に取り組む国際協力・調整業務を担当しています。JAXAが長年にわたって蓄積してきた情報は、例えば洪水や干ばつ、違法伐採といった課題に直面するグローバル・サウス諸国にも提供され、現地の課題解決に貢献しています。これらの取り組みは、世界中の宇宙機関や国際機関とも連携しながら行われており、私はJAXAとこれらの国際関係者との橋渡し役を担っています。近年では観測データの頻度や解像度も向上しており、今後ますます広がる衛星データの活用にも面白みがあります。宇宙規模で社会課題にアプローチできるこの仕事に、日々大きなやりがいを感じています。

JAXAに勤務する傍ら国際政治の勉強も続けており、現在は「米国における軍拡と大学」をテーマに研究しています。学びに対する積極的な姿勢は、やはり菊池先生の教えをはじめ青山学院大学で培われたものだと確信しています。学びを糧に、JAXAの一員として幅広く認知してもらい、多くの国際プロジェクトに参画したいですね。そして、研究分野においてはその道の第一人者になるのが目標です。

大学は、自分の可能性を試していく場

国際協力の仕事を夢みて勉強に励む

私は、今も昔も大学という環境が大好きです。将来は国際協力の仕事に就きたい、英語力を伸ばしたいと、国際政治経済学部への進学を決意。3年次には交換留学でアメリカのワシントン大学へ。そして卒業後に神戸大学、アメリカのオハイオ州立大学にて修士および博士課程修了と、4つの大学を渡り歩いて経済を学んできました。交換留学中に現在のトルコ人の夫に出会い、2006年にトルコ共和国に移住。トルコのハジェテペ大学にて教鞭をとり、早16年が経ちます。

ハジェテペ大学には年功序列がなく、自分の好きなことを、自分の責任で全うすることができます。直近では、トルコで新たに建設予定の、原子力発電所による社会経済への影響を分析するプロジェクトに参加し、とてもやりがいを感じました。

トルコという国はEUの環境政策に大きく左右されます。特にEUの気候変動対策は世界の最先端を行っており、それを受けてトルコの内部情勢も目まぐるしく変わるわけです。けれど環境経済を専門とする私から見れば、それは研究材料が豊富にあるということ。現在、関心があるのは、水不足による農業への影響です。せっかく自給自足率が高い国なので、気候変動の悪影響に適應できる政策を提案していければと考えています。

あらゆる経験をした大学4年間

青山学院大学で思い深い先生といえば、石倉洋子先生。試験の回答で、覚えた事例をそのまま書いたら、すぐに見透かされてしまいました。教科書に沿って与えられた問題の解法を学ぶだけで良いのは高校生まで。大学では、オリジナリティあるアイデアや解決策を自ら考えることに価値があることをご指導いただき、強烈な印象として残っています。

また、速水佑次郎先生は恩師ともいえる存在です。開発経済学のビッグネームだった先生の講義は貴重な経験ばかりで、厳しくも直接丁寧に教えていただきました。卒業後も院進の際に紹介状を書いてくださり、私の海外での研究にも意見を述べてきていただき、とても感謝しています。

いっぽう、私の大学生活の半分はAIESEC(アイセック:学生団体)での活動でした。アメリカ、フィリピン、ケニアなど各国のAIESECメンバーでスタディーツアーを実施。ハンガリーで開催された模擬国連に参加したことも。

大学は、とにかく自分の可能性をどんどん試していく場だと思います。目標が見つからない人は特に、能動的に動いてみることです。何もしくなくとも、あらゆる経験をして、等しく4年の月日は流れます。私は、大学で過ごした時間は充実していたと、胸を張って言えます。青山学院大学を抜きにして、私の人生は語れません。



国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
衛星利用運用センター

渡邊 康宏さん
[2014年度卒業]

Profile

2015年、国際政治経済学部を卒業し宇宙航空研究開発機構(JAXA)に入構。種子島宇宙センターに2年間勤務後、東京へ戻り勤務の傍ら青山学院大学で修士号取得。さらに東京科学大学の大学院博士課程へ。現在もJAXAの衛星利用運用センターに勤務しながら国際政治学を研究中。



①種子島宇宙センターの特別公開(ペットボトルロケットイベント) ②種子島宇宙センター
異動時の伝統胴上げ ③文部科学省への出向時に参加した国際会議 ④NASA本部での会議



①ハジェテペ大学での授業光景 ②黒海沿岸地域の気候変動への適応とレジリエンスに関する
プロジェクトのメンバーと ③シノップ県でのEUプロジェクトで市長を訪問、インタビュー
④地方自治体、漁業・観光業従事者に対する経済・社会影響評価の結果報告のワークショップ

トルコ共和国 国立Hacettepe大学
経済学部 助教授

荒 志帆美さん
[2000年度卒業]

Profile

2000年、国際経済学科卒業。卒業後は神戸大学経済学部修士課程に在籍、その後米国オハイオ州立大学環境経済学部にて修士(2003)および博士課程修了(2007)。2008年よりHacettepe大学経済学部の教職に就任、2021年より現職。専門は環境経済学、行動経済学、統計学等。専門家として気候変動に関するEUプロジェクトなどにも携わる。

教員紹介

宗教主任

左近 豊 【旧約聖書学】
米国コロンビア神学大学院修了 (Th.M.)。
プリンストン神学大学院Ph.D.取得。
●旧約聖書における都市崩壊後の衰歌、および嘆きの詩篇の文芸学的研究。

国際政治学科

阿部 達也 【国際法学】
京都大学法学部卒。同大学院法学研究科博士後期課程修了、博士 (法学)。
①法規範の明確性と実効性を視座とする国際法理論の再構築。
②国際社会における法の支配

泉川 泰博 【国際関係理論、国際安全保障、アメリカ外交、定性的方法論】
京都大学法学部卒。ジョンスホプキンス大学高等国際研究院修士。ジョージタウン大学大学院博士課程修了、Ph.D. (政治学)。
①同盟理論・リアリスト理論研究、北東アジア国際政治・アメリカ外交
②外交・国際安全保障問題の社会科学的分析

林 載桓 【比較政治学、中国政治】
ソウル大学社会科学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科修了、法学博士。
①現代中国の政治と外交。
②転換期中国の政治と経済

倉松 中 【外交史、国際関係史】
国際基督教大学卒。早稲田大学大学院、英国キール大学大学院修了。ロンドン大学LSE大学院に留学。
①戦間期の日英米海軍軍縮交渉、日英同盟、国連盟における国際武器取引取締の試み等。
②国際関係史―「一国外交史」を越えて

佐桑 健太郎 【国際関係論、紛争研究】
京都大学文学部卒。アリゾナ州立大学大学院、インディアナ大学大学院修了、Ph.D. (政治学)。
①紛争と安全保障、計量政治分析
②紛争と平和の科学

佐竹 知彦 【国際関係論、アジア太平洋の安全保障】
慶応義塾大学法学部卒。同大学院法学研究科修士課程修了。オーストラリア国立大学大学院太平洋アジア研究科国際関係学部博士課程修了、博士 (政治学・国際関係学)。
①米国を中心とした「ハブ・アンド・スポークス」同盟体制の変容とその地域秩序への影響
②豪州や日本の外交・安全保障政策

武田 興欣 【政治学、アメリカ研究】
東京大学法学部卒。プリンストン大学大学院に留学、Ph.D. (政治学) 取得。
①アメリカ連邦議会、アジア系アメリカ人について研究。
②現代アメリカ合衆国の政治と社会

武田 健 【国際関係論、EUの政治】
早稲田大学政治経済学部卒。同大学院政治学研究科修士課程修了、英国プリストル大学大学院博士課程にてPh.D. (政治学) 取得。
①EUにおいて国家間協力が進展するメカニズムについての研究
②EU・欧州統合の研究

中山 裕美 【国際関係論、グローバル・ガバナンス】
京都大学法学部卒。同大学院アジアアフリカ地域研究研究科修士号取得退学。同大学院法学部法学研究科修了、博士 (法学)。
①人の移動を扱うグローバル・ガバナンス、生体認証技術利用と秩序変容
②グローバル・ガバナンスの重層性やアクター間の相互作用に関する分析

藤重 博美 【国際平和活動、平和構築】
同志社大学法学部卒業。ロンドン大学LSE修士課程修了、ロンドン大学SOAS博士課程修了。Ph.D. (政治学)。
①紛争や国内の不安定さに苦しむ国々の再生や安定、そうした国々に対する国際的な支援策。
②国連とグローバル・ガバナンス (国境を越える諸問題の解決に向けた国際協力)

J. Patrick Boyd 【比較政治学、国際関係論、日本政治】
コロンビア大学東アジア研究学部卒。マサチューセッツ工科大学大学院修士 (M.S.)、博士 (Ph.D.) (政治学) 取得。
①戦後日本の政治と外交。
②Political Development in Japan and Asia

松田 拓也 【国際関係論、国際安全保障、アメリカ外交】
慶應義塾大学法学部政治学科卒。ジョンスホプキンス大学高等国際問題研究大学院 (SAIS) 修士。ロンドン大学キングススカレッジ博士課程修了、Ph.D. (安全保障研究)。
①大間競争時代における軍事同盟及び抑止の概念の変容

和田 洋典 【政治経済学】
慶応義塾大学経済学部卒。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 修士、一橋大学大学院博士課程修了、法学博士。
①国際経済制度、中国・新興国の台頭。
②グローバル化の政治経済学

渡邊 理絵 【気候エネルギー政治、政策過程論】
東京大学法学部卒。ベルリン自由大学Otto-Suhr Institut修了 (政治学博士)
① (実証) 気候エネルギー政治の独自比較。
②政策転換 (パラダイム転換) と環境政治

国際経済学科

内田 達也 【応用ミクロ経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士 (国際経済学)。
①社会課題に対する経済学的な解決法とデザイン的な解決法の統合
②社会・組織・私の問題の経済分析

内山 義英 【国際経済学、計量経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士 (国際経済学)。
①日本の貿易構造の特性についての研究。
②日本経済および国際経済問題の実証的研究

岡部 智人 【公共経済学、政治経済学】
慶應義塾大学理工学部卒。オーストラリア国立大学大学院修了 (Ph.D.)。一橋大学経済研究所を経て現職。
①財政政策と政治経済
②フランコフォニーの社会と経済

加藤 大貴 【行動経済学、応用ミクロ計量経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。大阪大学大学院経済学研究科修士課程及び博士後期課程修了。博士 (経済学)。
①寄付などの利他行動の実証研究、医療・保健政策における行動経済学的应用

NGUYEN Quoc Hung 【理論経済学、経済政策】
神戸大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科修士課程修了。プリティッシュ・コロンビア大学大学院にてPh.D. (経済学) 取得。
①技術革新や人口動態の変化に関する経済分析
②Analysis of Global Economy and Finance

島村 靖治 【開発経済学、応用計量経済学】
東京大学教養学部基礎科学科第一卒業。政策研究大学院大学国際開発プログラム 修了。ウィスコンシン大学大学院Ph.D. (農業・応用経済学)
①アジア、アフリカにおける貧困削減のための持続可能なコミュニティ開発
②Sustainable Community Development for Poverty Alleviation in Asia and Africa

沈 承侯 【労働経済学】
ソウル大学経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院に留学、Ph.D. 取得。東京大学経済学部講師。
①失業、賃金構造、人的資本形成など、労働市場の分析
②Understanding Contemporary Economic Issues and Policies

瀬尾 佳美 【環境経済学】
大阪大学理学部卒。クラーク大学大学院環境科学・政策学科修士課程修了 (MA)。筑波大学大学院博士課程修了、博士 (都市・地域計画)。
①環境リスクの研究。
②環境経済学、環境リスク学

竹田 憲史 【金融】
早稲田大学政治経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院Ph.D. 取得。日本銀行金融研究所を経て現職。
①国際金融、中小企業金融についての理論・実証研究。
②日本と国際政治経済

鶴田 芳貴 【産業組織論】
青山学院大学国際政治経済学部卒。筑波大学大学院博士課程修了、博士 (社会経済)。

①競争政策に関連する実証分析。
②企業活動や規制・産業政策・競争政策に関するデータ分析

友原 章典 【国際経済学】
早稲田大学政治経済学部卒。ジョンスホプキンス大学大学院Ph.D. 取得。世界銀行や米州開発銀行にてコンサルタントを経験。
①移民、貿易、海外直接投資
②グローバル経済が直面する諸問題について「移民の経済学」と「幸福の経済学」

中川 浩宣 【国際金融、国際マクロ経済学】
慶応義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院M.B.A.、コロンビア大学大学院Ph.D. 取得。
①国際マクロ・金融 (international macroeconomics and finance) 分野における理論・実証研究。
②データサイエンス

野村 親義 【経済史】
東京大学農学部卒。東京大学大学院農学・生命科学研究所博士課程修了 (博士 (農学))。
①帝国支配とインドの経済発展。
②グローバルな視点から学ぶ経済史

藤田 幸一 【農業経済学、開発経済学、南アジア・東南アジア地域研究】

東京大学農学部農業経済学科卒業。東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。東京大学・博士 (農学)。

①南アジア・東南アジアの経済発展と農村社会の変動
②アジア開発途上国の農村社会経済開発を学ぶ

山下 直輝 【国際貿易、多国籍企業、イノベーション、アジア経済】

オーストラリア国立大学院博士課程修了、Ph.D. (経済学)。スインバーン工科大学特任リサーチフェロー。アジア開発銀行、国連アジア太平洋経済社会委員会にて国際コンサルタントを経験。Asian Economic Journalの副編集員。
①グローバル化の日本経済への影響 (応用ミクロ経済分析)
②Economics of Globalisation

国際コミュニケーション学科

井川 肇 【理論言語学 (生成文法)】
国際基督教大学卒。カリフォルニア大学アーバイン校大学院留学、Ph.D. 取得。
①生成文法の枠組みの下での日英語の比較研究を行っている。
②人間言語の成り立ちと仕組み

市来 弘志 【中国語言南北観史、中国歴史地理学】
学習院大学文学部史学科卒業。学習院大学大学院人文科学研究科博士前期課程史学専攻修了。学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程史学専攻単位取得済退学。学習院大学 博士 (史学)。
①五胡十六国時代の遊牧民族史
②中国西北地域における環境変遷の歴史地理的研究

奥村 キャサリン 【高等教育学、移民研究、異文化コミュニケーション】
シドニー大学外国語学部フランス語学科卒業。クイーンズランド大学大学院日本語通訳翻訳専攻 修士課程修了。シドニー大学大学院教育学部研究科国際教育専攻修士課程修了。東北大学大学院教育学研究科グローバル共生教育論専攻博士後期課程修了。東北大学博士 (教育学)。
①移民に対するホスト社会の受け入れ意識、多文化共生社会における高等教育機関の役割
②Immigration and Japan

抱井 尚子 【多文化心理学、混合研究法】
青山学院大学国際政治経済学部卒。ハワイ大学大学院よりPh.D. 取得。
①文化とコミュニケーション。研究法。がん患者の心理社会的問題で海外との共同研究を実施。
②多文化社会の諸相

勝又 恵理子 【異文化コミュニケーション、多文化教育】
ヒューストン大学クリアレイク校卒。同大学院修了 (MA)。クレアモント大学院大学およびサンディエゴ州立大学大学院よりPh.D. 取得。
①異文化コミュニケーション、異文化教育。
②Intercultural Communication in Multicultural Societies

國分 俊宏 【フランス文学】
早稲田大学第一文学部卒。同大学大学院修了。パリ第3大学博士課程に留学し、文学博士号取得。
②表象文化論

猿橋 順子 【社会言語学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士後期課程修了、博士 (国際コミュニケーション)。
①社会言語学、言語政策論。
②都市の社会言語学

末田 清子 【異文化コミュニケーション、異文化コミュニケーション】
立教大学社会学部卒。カンザス大学大学院およびカリフォルニア州立大学フラトン校大学院修了 (MA)。英国ランカスター大学よりPh.D. 取得。
①研究テーマはアイデンティティ、フェイス (面子) とコミュニケーション。
②異文化コミュニケーション

田崎 勝也 【文化研究、異文化コミュニケーション、心理論】
ハワイ大学大学院修了、Ph.D. 取得。
①「ころと文化」をテーマに、比較文化の観点から量的研究を行っている。
②対人コミュニケーション

John W. Cheng 【メディア研究、社会心理学】
クイーンズランド工科大学工学部卒。ヘンリー・マネジメント・カレッジMBA。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程修了。早稲田大学博士 (国際関係学)。
①災害時のメディアの役割、ニューメディアの社会的影響、偽・誤情報の実態と対策。
②New Media and Society

陳 継東 【中国思想文化と仏教学】
北京大学卒。東京大学博士 (文学)。
①近代中国の思想・宗教、および日中交流史。
②中国の社会と文化

鳥塚 あゆち 【文化人類学、ラテンアメリカ地域研究】
東海大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学、博士 (文学)。
①アンデス先住民社会の変容、牧畜文化比較研究。
②ラテンアメリカの文化と社会

西村 康平 【理論言語学、音韻論】
国際基督教大学卒。東京大学総合文化研究科より博士号取得。
①言語の発音に関するバリエーション、語彙クラス、普遍性。
②自然言語の音声・音韻研究

Petr Podalko 【ロシア語教育、歴史学 (言語文化学)】
ノボシビルスク大学卒。同大学院歴史学専攻博士課程。大阪大学大学院博士課程修了。言語文化学博士。
①ユーラシア研究・移民問題、映画史等。
②東西を一致にしたユーラシア大陸の歴史と文化論、その過去と現在

渡邊 千秋 【スペイン現代史】
上智大学大学院修了。スペイン国立放送大学大学院より博士号取得 (史学)。
①20世紀スペインにおける社会心性。
②現代スペイン社会を文化横断的に考える

国際マネジメント研究科 (兼任)

岩井 千明 【ビジネスコミュニケーション、マーケティング】
慶応義塾大学法学部卒。青山学院大学大学院修士課程修了。
横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程修了、博士 (経営学)。
①ビジネスゲームの開発、アートとビジネス
②企業経営と価値創造そしてアート

中里 宗敬 【ファイナンス】
東京工業大学工学部卒。同大学院修士課程修了。
①証券の価格形成およびバブル発生メカニズムの分析
②証券市場の分析

前川 志津 【社会学、コミュニケーション学】
ジョージメイソン大学大学院にて修士号取得 (コンフリクト・リソリューション学)。立教大学大学院にて修士号および博士号取得 (社会学)。
①紛争解決のコミュニケーション。戦後和解。

入学者選抜情報については、下記をご覧ください。

【入学者選抜情報】



(大学ホームページ)

【国際政治経済学部ホームページ】

